

第18号(2025年)

会 報 SPACESHIP EARTH

宇宙船地球号



SPACESHIP EARTH

特定非営利活動法人
奈良県国際交流振興会



「体験を心のエネルギーに」



私が子どもの頃は社会全体が戦後の荒廃から立ち直り、自らの生活そのものをどう維持し、向上させていくかということが最も切実な問題という状況でした。大人は子どもたちを食べさせることに懸命で子どもたちに細々とかまうことはできなかったけれど、子どもたちはそういう大人の姿を見て生活の大変さを身をもって感じ、自立することの大切さや、家庭や地域での役割を果たすことの責任や喜びを日常の直接的な体験を通して、自然に身につけてきたように思われます。手にする情報と言え、テレビが普及し始めてはいたもの

の、ほぼ学校教育や地域の子ども同士の間関係の中で得るものがすべてと言って良いほどで、日常生活の中での実際の具体的な体験を通して夢や思いを膨らませ形成してきました。言わばリアルな体験の中で自らの夢や思いを実現しようとするエネルギーが蓄積されてきたように思います。それから時代は随分変わりました。今子どもたちは生まれたときからゲーム機やパソコン、スマートフォンなどに囲まれ、実体験を伴わない圧倒的な情報量の中で日常生活を送っています。大量のヴァーチャルな情報に埋もれ、実体験の基盤がないため、地に足の着いた視点をもって生きる方向を見つけにくく、将来の夢や思いを育み、その実現を図ろうというエネルギーを着実に蓄積することが難しくなっているように思われます。

こうした状況の中ではヴァーチャルではなく、やはりリアルな体験を通して、子どもたちが広く世界に目を向け、自らの現在の立ち位置を認識し、これからの自らの生き方・在り方を考える拠り所となる機会を提供することが大切であると考えます。

子どもたちは一人一人素晴らしい感性や理解力・判断力を持っています。私たちは子どもたちに適切な機会を提供することにより、それを引き出し、それぞれの個性を伸ばしていきたいと考え、海外異文化体験事業とイングリッシュキャンプを二つの柱に活動しています。これからも一人でも多くの子どもたちが私たちの活動に参加し、自らの可能性を伸ばしていただけることを心から願っています。

最後になりましたが、こうした活動が出来るのは、青少年の健全育成にご賛同いただく県内の企業様のご協力、ご支援によることが大きく衷心より感謝申し上げます。

奈良県国際交流振興会理事長 松 井 秀 史

目 的

この法人は、県内の青少年及び教育関係者に対して、国際教育並びに相互文化交流の普及促進及び交換留学等留学の実践並びに発展向上に関する事業を行い、自国や他国の文化についての深い認識や広い理解を持ち国際社会に貢献できる人材育成並びに国際友好親善向上に寄与することを目的とする。

沿 革

設 立 平成15(2003)年4月

特定非営利活動法人認証 平成18(2006)年2月7日

令和 6 年度事業報告書

令和 6 年 4 月 1 日から 令和 7 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会

1 事業の成果

今年度は、国内の春のイングリッシュキャンプに重点をおき、3 月 22 日～ 23 日の 2 日間、奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校と奈良芸術短期大学の 2 か所で開催した。小学 3 年生から 6 年生の計 63 名が参加し、英検 3 級、5 級の児童もいて、英語・海外文化への関心の高さが感じられた。

「楽しかった」と目をキラキラ輝かせて帰って行く後ろ姿からは、十分にプログラムを満喫したことがうかがわれ、まさに世界への第一歩を踏み出したようである。

今後も、世界で活躍する夢をもった子どもたちを応援し続け、国際社会に貢献できる広い視野を持ち、なにより平和を願い活躍できる人材の育成に努めていきたい。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
留学に係る普及促進及び支援事業	海外大学進学説明会	実施せず		0		0
	長期留学説明会	実施せず		0		
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	ホームステイによる異文化体験国際交流事業	令和 6 年 3 月 23 日～ 4 月 1 日 (令和 5 年度事業)	イギリス	6	小中高生 18 名	100
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	ホームステイ説明会及びオリエンテーション	実施せず		0		0
国際文化交流に係る調査研究事業	県内小・中・高の実態調査	随時	県内	6	県内小中高校	17
国際文化交流に係る教育研修事業	国内異文化体験教育研修事業(イングリッシュキャンプ)	令和 7 年 3 月 22 日～ 3 月 23 日	奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校 奈良芸術短期大学	9	小学生 63 名	84
国際文化交流に係る刊行物発行事業	国際交流体験記及び会報誌の刊行	令和 6 年 11 月		5	イングリッシュキャンプ・ホームステイ参加者、保護者、教員等	152

令和 7 年度事業計画書

令和 7 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	受益対象者の範囲 及び予定人数
留学に係る普及促進及び支援事業	海外大学進学説明会	予定なし		
	長期留学説明会	予定なし		
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	ホームステイによる異文化体験国際交流事業(ニュージーランド研修)	令和 8 年 3 月	ニュージーランド	県内小中高生
国際教育の普及 及び支援事業並びに人材育成事業	ホームステイ 説明会及び オリエンテーション	令和 8 年 2 月、3 月	大阪市	県内小中高生
国際文化交流に係る調査研究事業	県内小・中・高の実態調査	随時	県 内	県内各校
国際文化交流に係る教育研修事業	国内研修(イングリッシュキャンプ)	令和 8 年 3 月	県 内	県内小中生
国際文化交流に係る刊行物発行事業	国際交流体験記及び会報誌の刊行	11 月		イングリッシュキャンプ・ホームステイ参加者、保護者、教員等



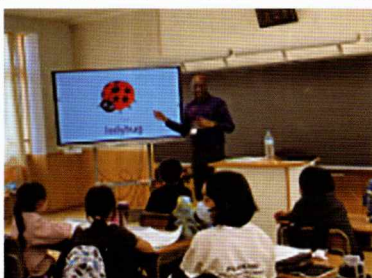
English キャンプ参加者体験記

小学校4年生 稲葉 和

外国人の先生に英語でのあいさつ、食べ物の名前などを教えてもらいました。海外のいろんな文化を教えてもらい、知らない食べ物やところも知ることが出来ました。アシスタントとして高校生のお兄さんやお姉さんがついてくれているので、わからない言葉があっても英語を日本語にかえてわかりやすく教えてくれ、英語の初心者でも楽しく英語を学べる事が出来ました。

ゲームをする時間もあり、英語のジャンケンをしました。いろいろな単語も教えてもらいました。新しい友達も出来、お昼ごはんの時に一緒に弁当を開いてみんなでおいしく食べ楽しかったです。

私は英語が少し苦手でしたがイングリッシュキャンプで英語が好きになりました。さよならするときは少しさびしかったです。また、参加したいです。



小学校5年生 今西 明理

私はこのイングリッシュキャンプを通してたくさんのことを学びました。一日目、最初は緊張して心臓が飛び出るかと思いました。でも自分のグループの部屋について椅子に座ると、緊張していた気持ちがずっと抜けるかのように気持ちが楽になりました。授業でゲームをする時に英語で会話するのでまた少し緊張しましたが、お昼のお弁当の時間にみんなでしとりゲームをして仲良くなれ、絆が生まれました。

二日目の朝、一日目の緊張が楽しみに変わり、朝からワクワクが止まりませんでした。教室で先生を待っているとみんなでお話が生まれ、友情の大切さを実感しました。

このイングリッシュキャンプでは友達の大切さ、英語のおもしろさを実感し、私の力にもなりました。これからもイングリッシュキャンプで学んだ英語の楽しさや友達の輪が広がる喜びを大切にしていきたいです。来年も開催して下さることを願っています。

小学校6年生 藤岡 千裕

私は小学3年生の時に学校で配られた案内チラシを見て「English キャンプ」のことを知りました。それまで英会話教室などに通った経験は全くなく、英語に触れる機会は小学校での英語の授業だけでした。学校の授業で英語を話すことには少し抵抗がありましたが嫌いではなかったため、案内チラシの内容を見てすぐに「行ってみよう！」と思いました。

キャンプ初日は、緊張もあり、たった一人で知らない子たちに囲まれて、しかも英語でしか会話できない環境で過ごすことは大変でした。でも、お手伝いの学生ボランティアのお姉さんたちが優しく



サポートしてくださり、ネイティブの先生もとても面白い方ばかりで、気づかぬうちに自然と英語でコミュニケーションをとれるようになっていく自分に驚きました。同じくらいの年齢の参加者の友達ともすぐに仲良くなれて、翌年のキャンプにも続けて参加した時には1年ぶりに同じメンバーに再会できたこともうれしかったです。

今、中学一年生になり、小学校の時よりもっと本格的に英語を学び始めましたが、English キャンプに参加した時の楽しい印象が大きかったからか、難しい文法的な内容も比較的スムーズに理解できているように思います。これからも積極的に英語を使うことを忘れず、いつか自分の語学力を活かせる仕事に就きたいと思っています。

小学校3年生 後藤 楓歩

英語の内容は簡単だったけど、友だちがたくさんできて楽しかった。また、前からいろんな国の人と会ってみたいと思っていたので、いろんな国の先生に会えてうれしかった。

英語で分からないこともあったけど、言い方を教えてもらって話すことができてうれしかった。次は最初から恥ずかしがらず話して、友だちを作ってみて楽しみたいと思った。

参加者保護者 藤岡 真由美

娘が初めて「English キャンプ」に参加させていただいたのは小学3年生の春休みの2日間通いプログラムでした。ちょうどコロナ禍真っ只中で、小学校の授業も対面でのコミュニケーションがかなり制限され、皆がマスクを常時着用して生活していた時期でした。幼い頃から人と交流するのが大好きな娘でしたので、このコロナ禍の「3密回避」の生活は、大きなストレスとなっていたと思



います。そんな折、小学校から持ち帰った案内チラシを私に見せて「これに行ってみよう！」と言う娘に、親として反対する理由はありません。ただ、それまで英会話教室などに通ったことがなかったので、果たして英語でコミュニケーションが取れるのか、かえって英語に対する抵抗感を持ってしまうのか、ということが心配でした。

キャンプ初日終了後、その不安は一掃されました。娘は私の顔を見るなり「楽しかった〜!」と言いながら、その日どんな先生がどんなお話やゲームをしてくださったか、同じクラスのお友達はどんな子なのか、自分はどうなことを英語で話せたのか、など、生き生きと報告してくれました。

学年やそれまでの英語経験に応じてクラス分けがされていたことはもちろんですが、子どもたちをフォローして下さる学生ボランティアスタッフさんの存在、また先生方の温かい雰囲気なども娘にとってはありがたかったと思います。

その後2年間、同じ時期のEnglish キャンプに続けて参加させていただき、今、中学生になっています。たった年に1度だけのEnglish キャンプへの参加ですが、娘にとっては生きた英語に触れる絶好の機会となりました。

今、同じ中学校で学ぶ生徒さんの中には、小さい頃から英会話を学んでおられたり、長い間海外で生活された経験があったりする方もいらっしゃるようですが、そんな方たちと同じように楽しく英語の学習を進められています。また、このような英語や異文化を体験できるプログラムに参加できる機会があれば、ぜひ参加したいと思っています。

参加者保護者 玉 西 陽 二

このたび小学校6年生の息子がイングリッシュキャンプに参加させていただき、大変有意義な経験をさせていただきました。

これまで英語は学校の授業や塾で学んでおりましたが、学問としての感覚が否めず、学問にとどまらず「コミュニケーションの道具」として自然に使えるようになって欲しい。そんな思いを込めて、本人にも相談した上で今回のイングリッシュキャンプへの参加を決めました。

帰宅後、息子は「すごく楽しかった!」と満面の笑みで話してくれました。英語を使ったクイズやフルーツバスケットなどのゲーム形式の学びを通して、自然と英語に触れることが出来、遊びながら英語を学べたことがとても楽しかったようです。

中でも印象的だったのは、「5歳の妹にプレゼントを買う」というロールプレイングの活動でした。少し難しかったと言っておりましたが、自分の言葉で英語を使ってコミュニケーションが出来たという体験が本人の自信につながったようです。引込み思案な息子だけに親としても、その成長が感じられました。

また、フィリピン出身の先生から子どもたちの遊びを教えてもらったことも面白かったようで、「外国って面白い」「外国に行ってもっと話してみたい」と、これまで以上に海外や異文化への関心が深まった様子でした。

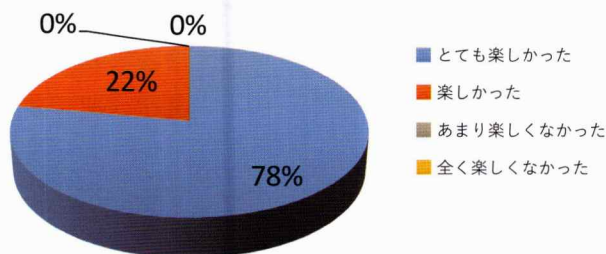
今回の企画が集団で活動するため、初対面の子どもたちとも自然に打ち解けたり、協力し合ってワークに挑めたことなども大きな成長だと感じました。

このような貴重な体験の場を提供していただきました先生方やスタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

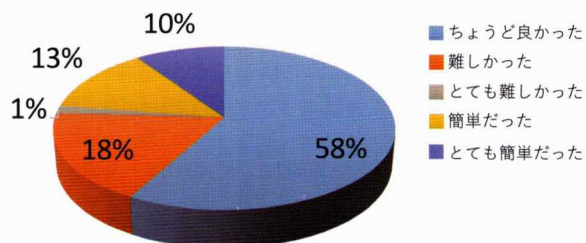


2025 年春 奈良県イングリッシュキャンプアンケート結果 (回答者 63 名)

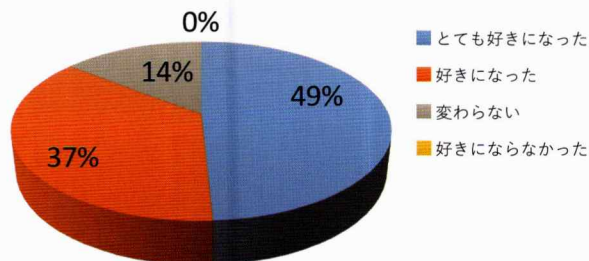
◆プログラムは楽しかったですか？



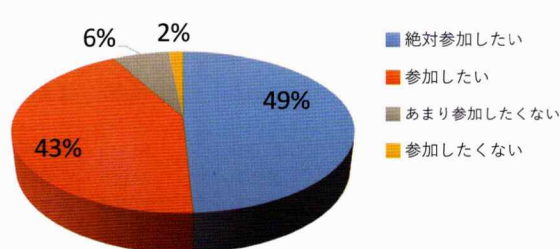
◆英語クラスは難しかったですか？



◆参加前より英語が好きになりましたか？



◆また参加したいですか？



◆主な具体的感想

- ・生の英語に接することはほとんどないのでとてもいい機会になりました。
- ・先生たちと楽しく会話することで英語を話すことに抵抗がなくなり、もっと知りたいと思うようになりました。
- ・英語を学びながら遊びをするのはとても良かったです。
- ・先生がとてもフレンドリーで接しやすく、授業もわかりやすかった。この二日間短かったけど英語と触れあえて楽しかったです。
- ・英語を勉強していく中で知らないことが一杯あったけど、イングリッシュキャンプに参加しているんなことを知れました。
- ・英語の初心者、中級者、上級者に分けてそれぞれの授業をして欲しい。アシスタントの人がいてくれたので分かりやすかったし、親しみやすく楽しかったです。



会計収支計算表

令和6(2024)年度 特定非営利活動に係る事業会計活動報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
(特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会)

科 目	予 算	決 算	備 考
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
正会員			会員数 14
個人会費	42,000	42,000	
賛助会員			会員数 3
団体会費 個人会費	300,000	160,000	
計	342,000	202,000	
2 事業収入			
留学に係る普及促進及び支援事業	0	0	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	360,000	360,000	R6年3月ホームステイ18名
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	0	0	
国際文化交流に係る調査研究事業	0	0	
国際文化交流に係る教育研修事業	35,000	35,000	R7年3月国内研修 63名
国際文化交流に係る刊行物発行	0	0	
計	395,000	395,000	
3 その他収入			
受取利息	0	45	
雑収入	0	6,000	
計	計 0	6,045	
経常収入合計(A)	737,000	603,045	

II 経常支出の部			
1 事業費			
留学に係る普及促進及び支援事業	0	0	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	150,000	100,126	会議費 旅費交通費等
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	50,000	0	
国際文化交流に係る調査研究事業	50,000	17,400	通信費
国際文化交流に係る教育研修事業	100,000	83,566	通信費、雑費等
国際文化交流に係る刊行物発行	150,000	151,800	印刷費等
計	500,000	352,892	
2 管理費			
事務所管理費	15,000	13,787	電気代
会議費	50,000	50,000	総会
通信費	60,000	66,435	電話代
雑費	39,000	34,655	手数料
租税公課	73,000	71,000	県市民税等
計	237,000	235,877	
経常支出合計(B)	737,000	588,769	
当期収支差額(C)=(A)-(B)	0	14,276	
前期繰越収支差額	20,307	20,307	
次期繰越収支差額	20,307	34,583	

令和7年(2025)年度 特定非営利活動に係る事業会計予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
(特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会)

科 目	金 額(単位:円)	
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入		
正会員	42,000	
個人会費・入会金		
賛助会員	400,000	
団体会費・入会金		
		442,000
2 事業収入		
留学に係る普及促進及び支援事業	0	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	0	
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	0	
国際文化交流に係る調査研究事業	0	
国際文化交流に係る教育研修事業	64,000	
国際文化交流に係る刊行物発行	0	
		64,000
経常収入合計		合計 506,000

II 経常支出の部			
1 事業費			
留学に係る普及促進及び支援事業	0		
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	0		
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	0		
国際文化交流に係る調査研究事業	50,000		
国際文化交流に係る教育研修事業	110,000		
国際文化交流に係る刊行物発行	152,000	312,000	
2 管理費			
事務所管理費	15,000		
通信費	68,000		
雑費	38,000		
租税公課	73,000	194,000	
経常支出合計			506,000
経常収支差額			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			34,583
次期繰越収支差額			34,583



事業概要

I 異文化体験国際交流研修(海外ホームステイ)

実施年	実施月	研修地	参加者数
平成15年	8月	ニュージーランド(小中)	25名
平成15年	12月	オーストラリア(小中)	10名
平成16年	3月	カナダ(中高)	24名
		イギリス(中高)	26名
平成16年	8月	ニュージーランド(小中)	51名
		オーストラリア(中高)	42名
平成17年	3月	カナダ(中高)	12名
		イギリス(中高)	26名
平成17年	8月	ニュージーランド(小中)	49名
		オーストラリア(高)	18名
平成18年	3月	オーストラリア(小中高)	42名
		イギリス(中高)	19名
平成18年	8月	ニュージーランド(小中)	30名
		オーストラリア(中高)	26名
平成19年	3月	カナダ(中高)	11名
		オーストラリア(小中高)	19名
平成19年	7月	ニュージーランド(小)	19名
		オーストラリア(中)	21名
平成20年	3月	ニュージーランド(小中)	13名
		オーストラリア(中高)	17名
平成20年	7月	ニュージーランド(小中)	27名
		アメリカ(中高)	18名
平成21年	3月	オーストラリア(小中高)	19名
平成22年	3月	ニュージーランド(小中)	13名
		イギリス(中高)	17名
平成22年	8月	ニュージーランド(小)	6名
		オーストラリア(中高)	19名
平成23年	3月	カナダ(小中)	20名
		イギリス(中高)	16名
平成23年	8月	オーストラリア(小中)	13名
平成24年	3月	イギリス(中高)	29名
平成24年	8月	ニュージーランド(小中)	19名
平成25年	3月	オーストラリア(小中)	14名
		イギリス(中高)	20名
平成25年	8月	ニュージーランド(小中高)	9名
平成26年	3月	イギリス(中高)	22名
平成26年	8月	イギリス(中高)	18名
平成27年	3月	カナダ(小中)	13名
		イギリス(中高)	16名
平成27年	8月	ニュージーランド(小中)	4名
		アメリカ(中高)	4名
		イギリス(中高)	4名
平成28年	3月	イギリス(中高)	12名
		ニュージーランド(小中)	7名
平成28年	8月	ニュージーランド(小中)	9名
		アメリカ(中高)	8名
		イギリス(中高)	5名
平成29年	3月	イギリス(中高)	13名
		カナダ(小中高)	13名
平成29年	8月	オーストラリア(小中高)	5名
		アメリカ(中高)	4名
		カナダ(小中高)	5名
平成30年	3月	オーストラリア(小中)	6名
		アメリカ(中高)	2名
		イギリス(中高)	3名
平成30年	8月	オーストラリア(小中)	4名
		ニュージーランド(小中)	5名
		カナダ(中高)	7名
平成31年	3月	オーストラリア(小中高)	4名
		イギリス(中高)	13名
令和元年	8月	アメリカ(小中高)	9名
		オーストラリア(中)	6名
		カナダ(小中高)	9名
		ニュージーランド(小高)	5名
		シンガポール(中)	1名
		イギリス(中高)	5名
		マルタ共和国(高)	2名
令和6年	3月	イギリス(小中高)	18名

海外ホームステイ参加者合計 1020人

II 異文化体験国際交流研修(国内研修)

実施年	実施月	研修名	研修場所	校種	参加者数
平成18年	12月	国内合宿	奈良ユースホステル	小	13名
平成19年	5月	国内合宿	国立曽爾少年自然の家(小)	小	60名
令和元年	6月~10月	イングリッシュキャンプ	大阪、京都、滋賀	小中高	57名
令和2年	3月	奈良イングリッシュキャンプ	奈良県立国際高等学校	小中	177名
令和3年	8月	英語研修プログラム	奈良芸術短期大学	小	40名
令和4年	3月	奈良イングリッシュキャンプ	奈良芸術短期大学 奈良学園登美ヶ丘中・高等学校	小	44名 65名
令和5年	3月	奈良イングリッシュキャンプ	奈良芸術短期大学 奈良学園登美ヶ丘中・高等学校	小	64名 81名
令和6年	3月	奈良イングリッシュキャンプ	奈良芸術短期大学	小中	35名
令和7年	3月	奈良イングリッシュキャンプ	奈良芸術短期大学 奈良学園登美ヶ丘中・高等学校	小	63名

国内英語研修参加者合計 699名

III 教育講演会

第1回教育講演会(設立記念)

日時:平成15(2003)年5月25日(日)14:00~

会場:桜井市立図書館・研修ホール

講師:岡 秀夫(東京大学大学院・総合文化研究科教授)

第2回教育講演会・シンポジウム

日時:平成18年(2006年)5月14日(日)13:00~

会場:奈良県社会福祉総合センター

講師:直山木綿子(京都市総合教育センター指導主事)、

パネラー:ALT等

IV 教員研修講座

第1回小学校「英語活動」担当教員宿泊研修

日時:平成17(2005)年8月18日~19日

場所:ホテル アウィーナ大阪

講師:高島英幸(東京外国語大学教授)、

ワークショップ講師:県内ALT等

第2回小学校「英語活動」担当教員宿泊研修

日時:平成18(2006)年8月20日~21日

場所:春日野荘

講師:菅 正隆(文部科学省教科調査官)、

ワークショップ講師:県内ALT等

第3回小学校「英語活動」担当教員研修会

日時:平成19(2007)年8月5日~6日

場所:春日野荘

講師:菅 正隆(文部科学省教科調査官)、

ワークショップ講師:県内ALT等

第4回小学校「英語活動」担当教員研修会

日時:平成20(2008)年8月5日~6日

場所:橿原観光ホテル

講師:菅 正隆(文部科学省教科調査官)、

実践発表:奈良市教委指導主事等



*後援：奈良県教育委員会、奈良県都市教育長協議会、奈良県町村教育長会、奈良県小学校長会、奈良県中学校長会、奈良県高等学校長協会、奈良県私立中学高等学校連合会、奈良県PTA協議会、奈良県高等学校PTA協議会、奈良新聞社、奈良テレビ放送、まちづくり国際交流センター

賛助会員になって頂いた法人・企業名

(株)アイエスエイ	(株)中井メリヤス
アス力美装(株)	奈良交通(株)
小山(株)	奈良豊澤酒造(株)
三和住宅(株)	奈良トヨタ(株)
佐藤薬品工業(株)	(株)南都銀行
(株)新興出版社 啓林館	野村證券(株)奈良支店
大光宣伝(株)	(株)藤井書房
大同薬品工業(株)	吉岡印刷(株)
(株)高木包装	

(五十音順・敬称略)

令和7年度 役員名簿

役 名	氏 名
理 事 長	松 井 秀 史
副 理事長	内 田 リカコ
副 理事長	日 高 容 子
理 事	天 根 俊 治
理 事	大 西 英 人
理 事	國 柄 由紀子
理 事	谷 垣 康
理 事	根 来 群 二
理 事	八 代 英 美
理 事	山 下 幸 江
監 事	岡 本 秀 光
監 事	寺 嶋 敏

